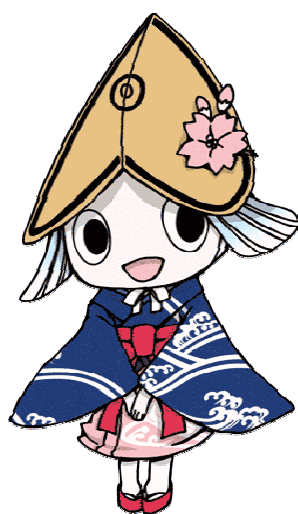


徳島市子育て支援アンケート調査
結果報告書
(ホームページ掲載)



平成 28 年 12 月
徳島市保健福祉部保健センター

1. 調査の目的

本調査は地域子ども・子育て支援の充実を目的とし、妊娠期から子育て期における切れ目のない支援の実現のために、子育てをしている市民の皆様の子育て施策に係るご意見、ご要望を把握することを目的として実施しました。

2. 調査の概要

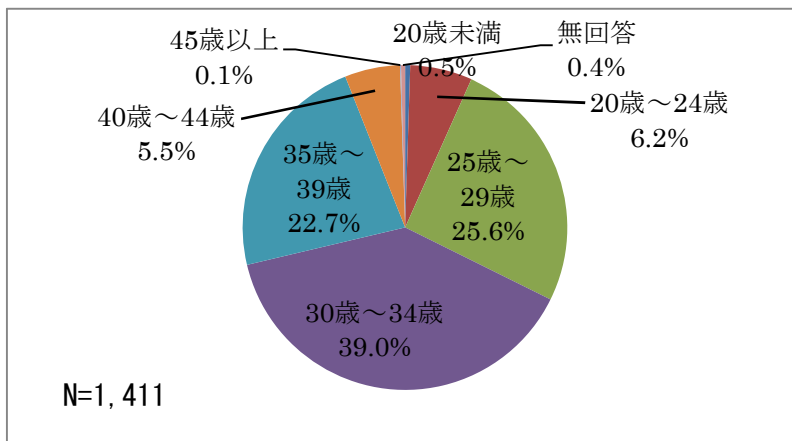
- (1) 調査対象者：平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までに生まれたお子さんをもつすべての保護者 2,179 人
- (2) 調査期間：平成 28 年 5 月 30 日～7 月 15 日
- (3) 調査方法：郵送配布・郵送回収

3. 有効回答数 1,411 人 (回収率 64.8%)

4. 結果

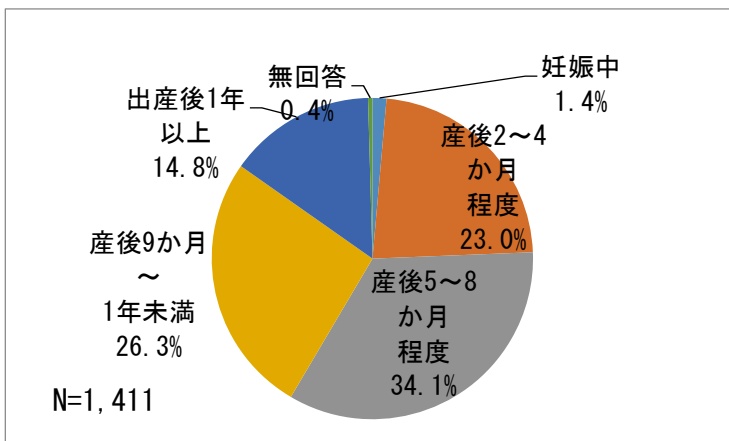
調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第 2 位を四捨五入して小数点第 1 位までを示しています。そのため合計値が 100%にならない場合があります。

問 1 ① 出産された方の年齢 (平成 28 年 6 月 1 日現在) をお答えください。



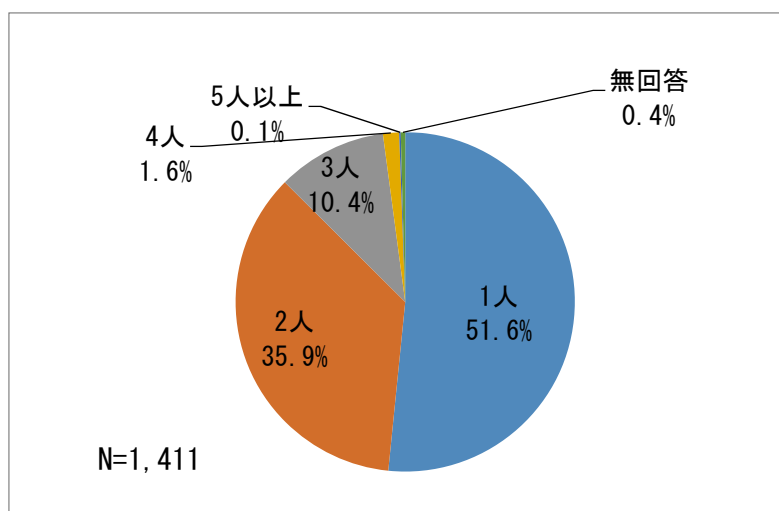
回答者の年齢は、30 歳～34 歳が 39.0%で最も多く、次いで 25 歳～29 歳が 25.6%、35 歳～39 歳が 22.7%となっています。25 歳から 39 歳で 9 割弱 (87.3%) を占めています。

問 1 ② 出産された方の現在の状態をお答えください。



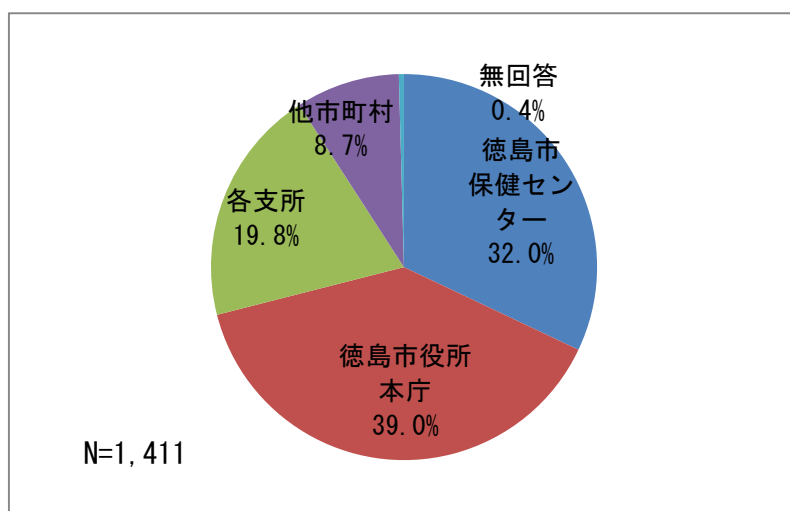
出産後 5～8 か月の回答者が最も多く、34.1%を占めています。次いで出産後 9 か月～1 年未満が 26.3%、出産後 2～4 か月が 23.0%となっています。

問1③ お子さん全員の人数をお答えください。



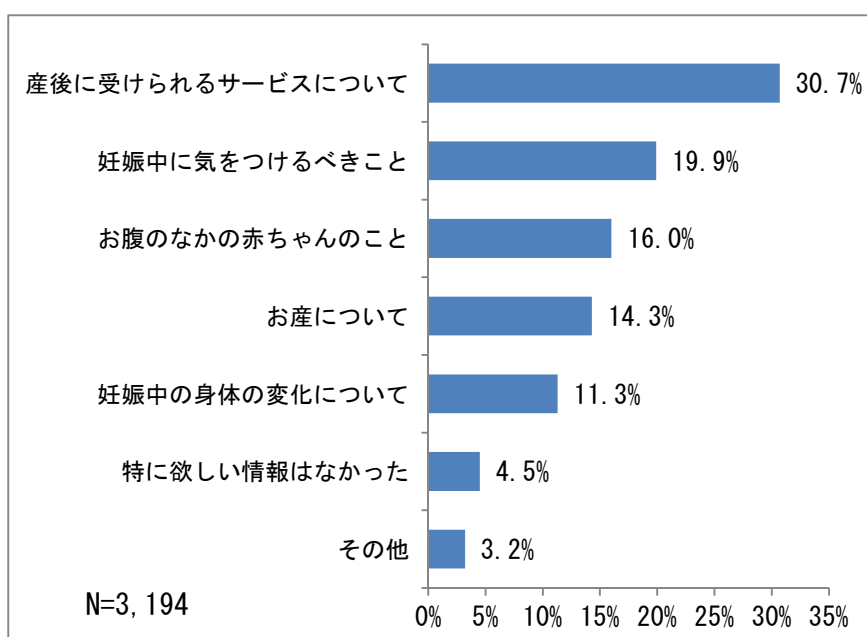
子どもの数は「1人」が51.6%で大半を占め、次いで「2人」が35.9%となっています。

問2① 妊娠したときに、届出をした場所はどこですか。



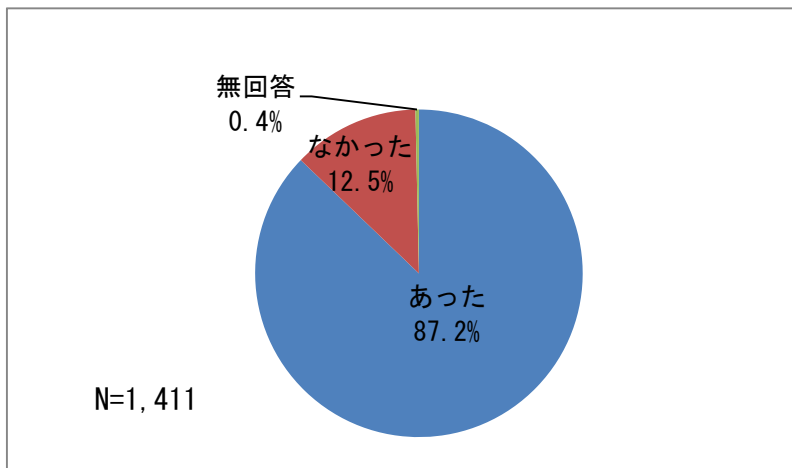
妊娠届出をした場所は、市役所本庁が39.0%で最も多く、次いで保健センターが32.0%、各支所は19.8%となっています。

問2② 妊娠届出をしたときに、どのような情報が欲しかったですか。(複数回答)



妊娠届出をしたときに欲しかった情報は、「産後に受けられるサービスについて」が30.7%で最も多く、次いで「妊娠中に気をつけるべきこと」が19.9%、「お腹のなかの赤ちゃんのこと」が16.0%となっています。

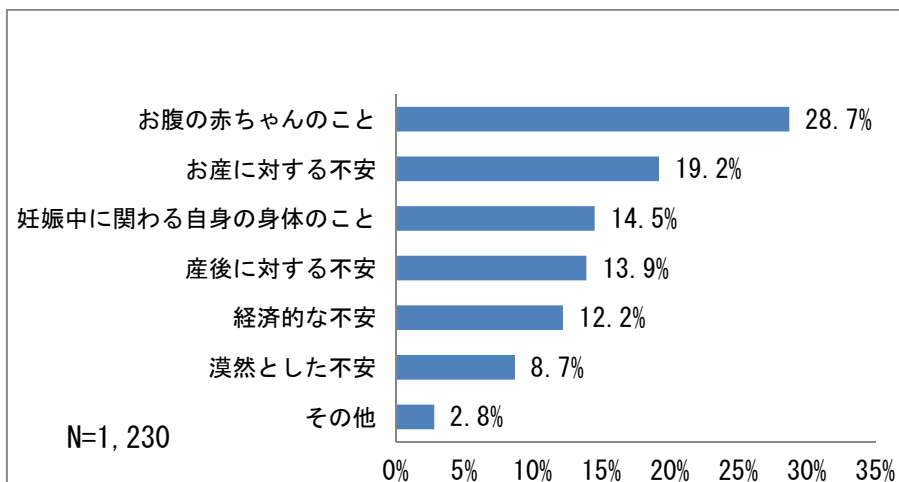
問 3① 妊娠中に不安なことはありましたか。



妊娠中に不安なことが「あった」が87.2%で多数を占めており、「なかった」は12.5%となっています。

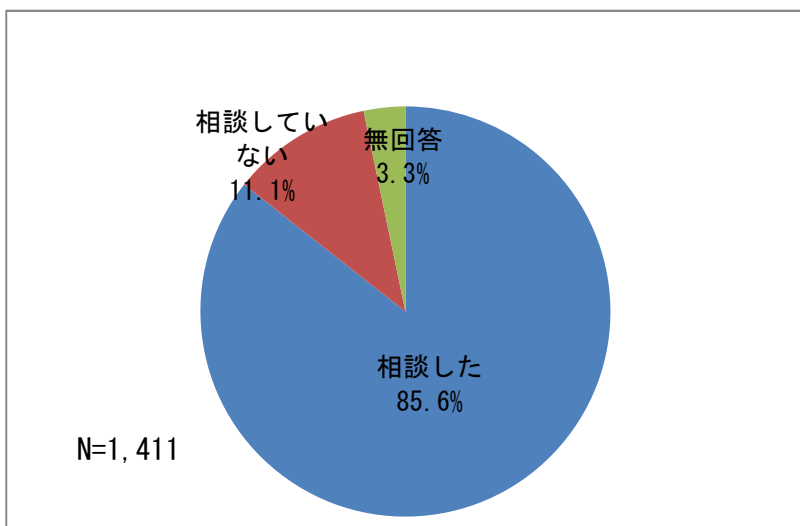
※問 3①で妊娠中に不安なことが「あった」を選択した方

問 3② どのような不安がありましたか。(複数回答)



妊娠中の不安なことは、「お腹の赤ちゃんのこと」が28.7%で最も高く、次いで「お産に対する不安」が19.2%、「妊娠中に関わる自身の身体のこと」が14.5%、「産後に対する不安」は13.9%となっています。

問 3③ 妊娠中に不安なことがあったとき、どこかに相談しましたか。



妊娠中に不安なことを「相談した」が85.6%で、「相談していない」が11.1%となっています。「相談した」を選択した方の相談先は、多い順に「自身の母親や祖母・姉妹」、「かかりつけの病院」、「友人」となっています。

※問 3③で「した」を選択した方

相談した相談先（複数回答）

相談先	件数
かかりつけの病院	775
助産院（所）	20
自身の母親や祖母・姉妹	795
友人	627
徳島市保健センターなどの市の機関	27
民生委員・児童委員等地域の人	1
その他	55
合計	2,300

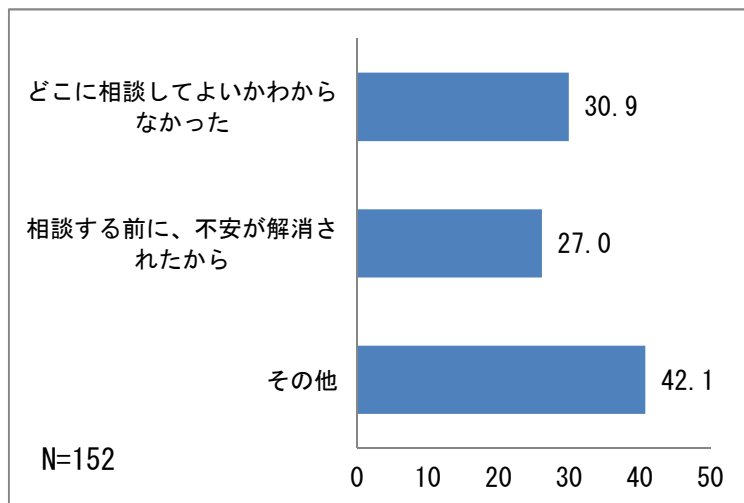
※相談した「その他」の主な内訳

相談先	件数
夫	38
インターネット掲示板・無料電話相談等	6
保育所・在宅育児家庭相談室	4

※問 3③で「していない」を選択した方

問 3④ 相談しなかった理由（複数回答）

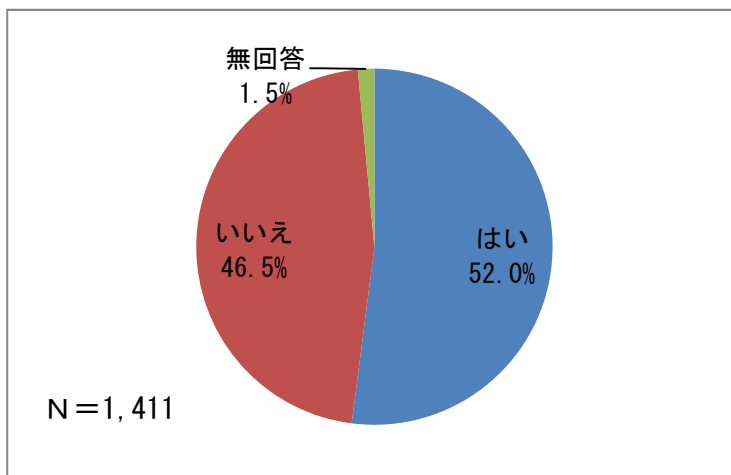
妊娠中に不安なことを相談しなかった理由は、「その他」が多く、「相談しても解決されないから」があげられました。



※相談しなかった「その他」の主な内訳

相談しなかった理由	件数
相談しても解決されないから	21
ネットで調べた	16
漠然としていて相談のしようがなかった	4
相談できる相手がいない	4

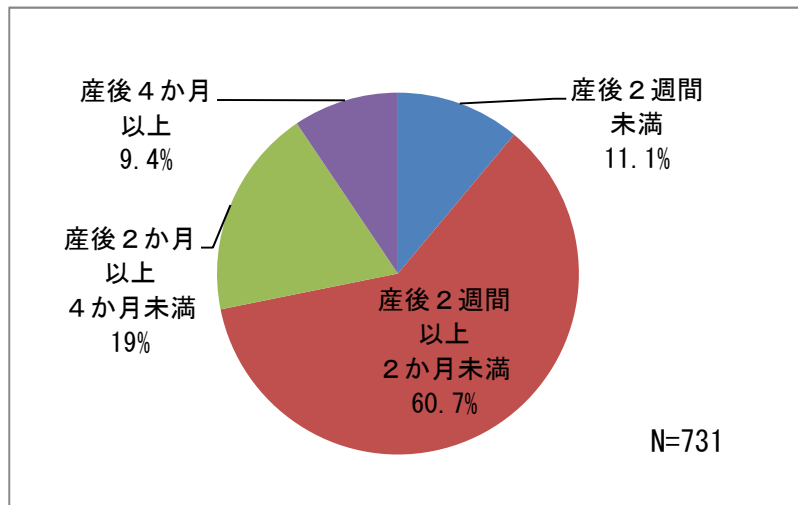
問 4① 一番下のお子さんの出産後に里帰りをしましたか。



出産後の里帰りの有無は、「はい」が52.0%、「いいえ」は46.5%となっており過半数が里帰りをしています。

※問 4①里帰りをしましたかで「はい」を選択した方

問 4② 里帰りの期間についてお答えください。

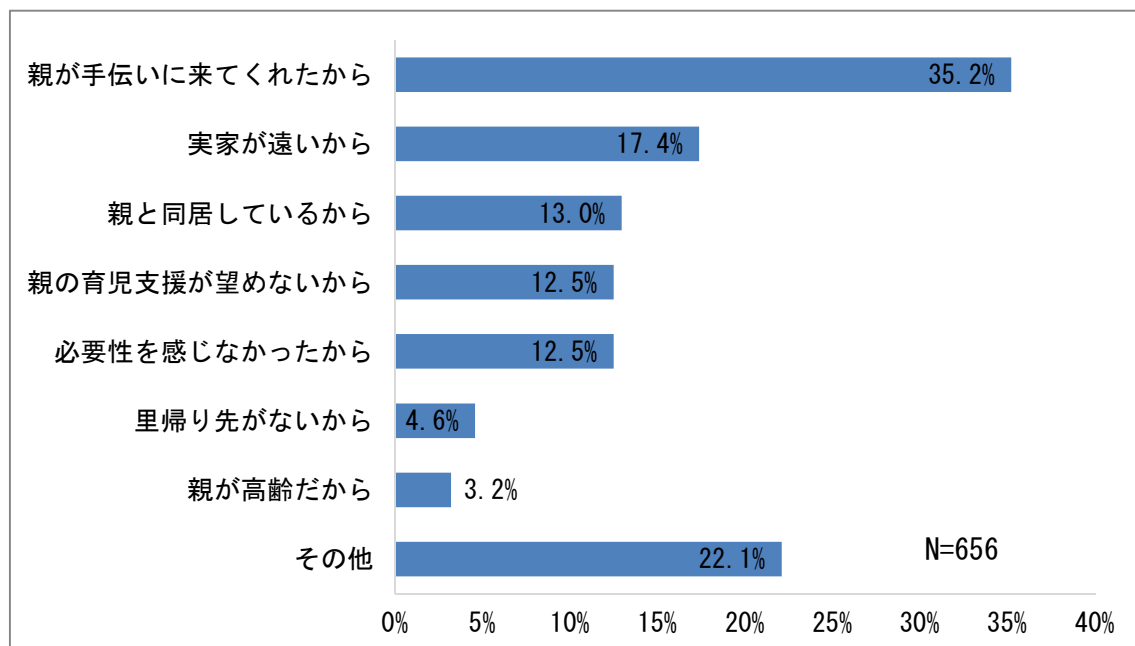


里帰りの期間は、「産後2週間以上 2か月未満」が60.7%で最も多く、次いで「産後2か月以上 4か月未満」が18.7%、「産後2週間未満」は11.1%となっています。

※問 4①里帰りをしましたかで「いいえ」を選択した方

問 4③ 里帰りをしなかった理由についてお答えください。(複数回答)

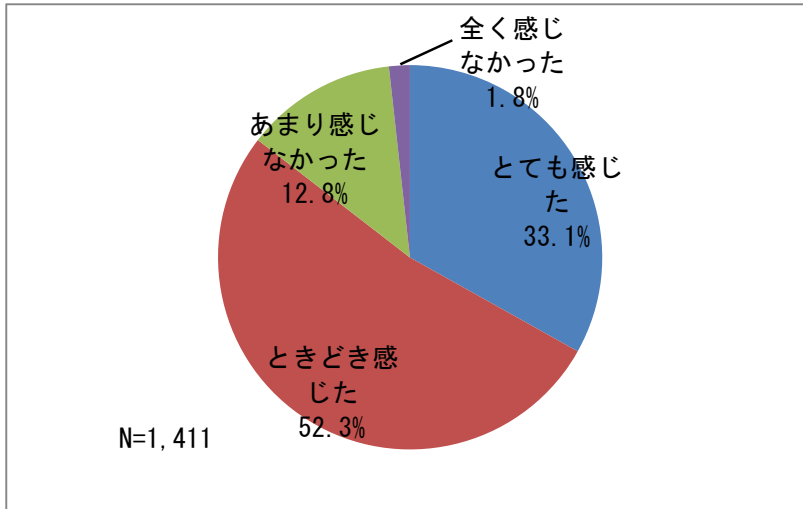
里帰りをしなかった理由は、「親が手伝いに来てくれたから」が35.2%で最も多く、次いで「実家が遠いから」が17.4%、「親と同居しているから」が13.0%となっています。



「その他」を選択した方の記載内容 (一部)

項目	件数
①きょうだい関係	75
②里帰り先の事情	23
③夫婦で子育てしていきたい	13
④実家が近いから	10
⑤夫の世話	4

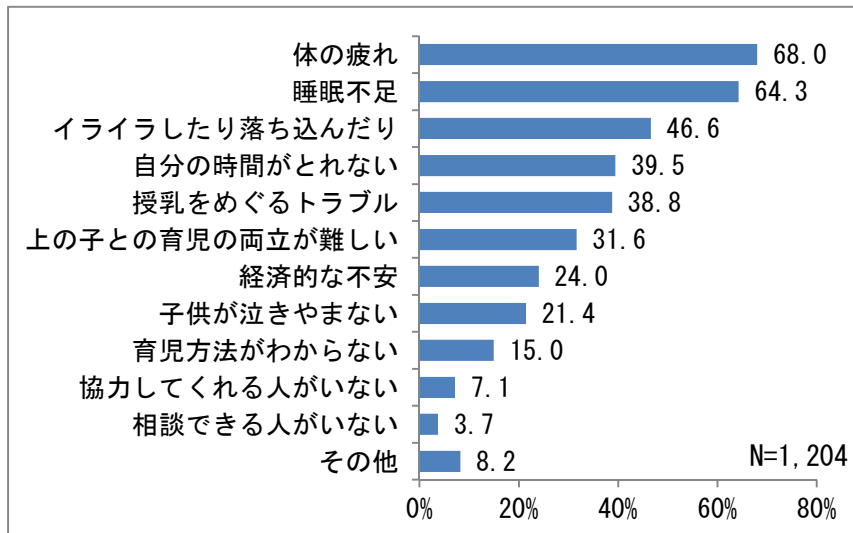
問 5① 産後に不安や負担を感じましたか。



産後の不安や負担について、「とても感じた」と「ときどき感じた」を合わせた回答は85.4%と高くなっています。

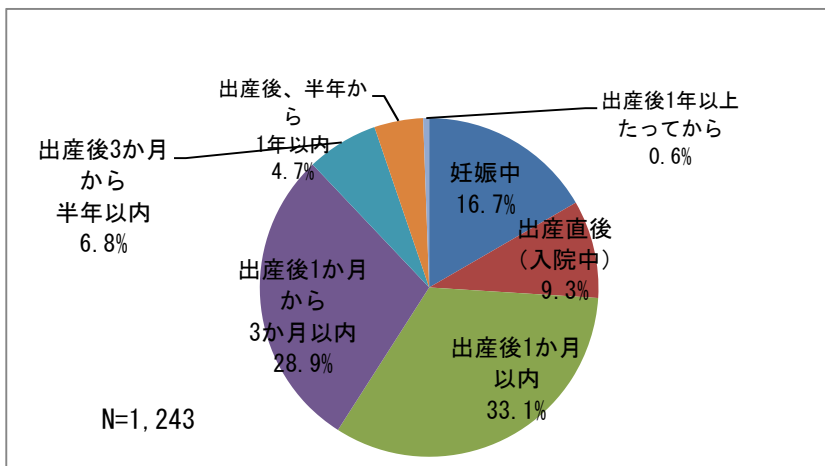
※問 5①で「とても感じた」、「ときどき感じた」を選択した方

問 5② どのようなことに不安や負担を感じましたか。(複数回答)



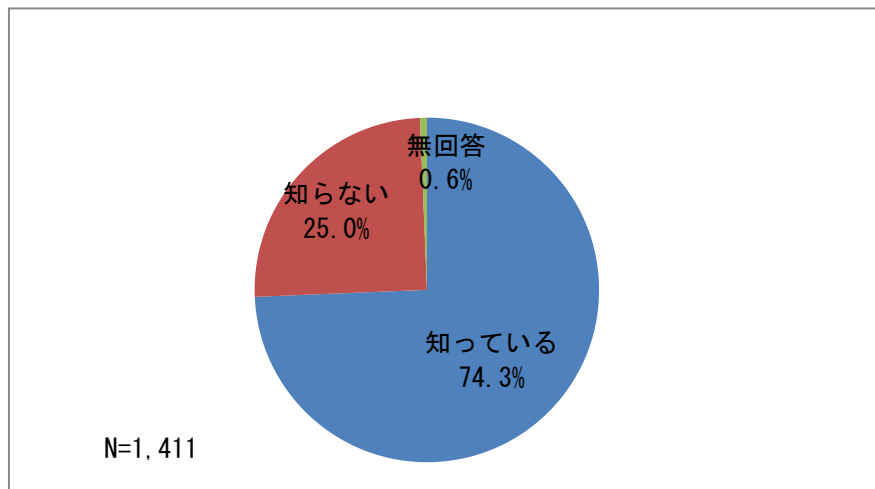
産後の不安や負担を感じた内容は、多い順に「体の疲れ」(68.0%)、「睡眠不足」(64.3%)「イライラしたり落ち込んだりする」(46.6%)、「自分の時間がとれない」(39.5%)となっています。

問 5③ もっとも不安や負担を感じた時期はいつですか。



もっとも不安や負担を感じた時期は、「出産後1か月以内」が33.1%で最も多く、次いで「産後から1か月から3か月」が28.9%、「妊娠中」が16.7%となっています。

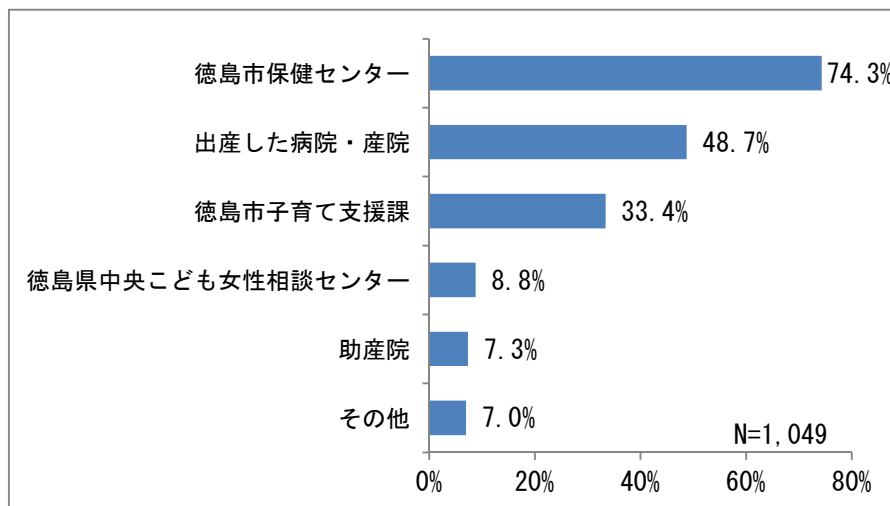
問 5④ 産後の心身や育児について相談できる場所を知っていますか。



産後の心身や育児について相談できる場所を「知っている」が 74.3%で、「知らない」は 25.0%となっています。

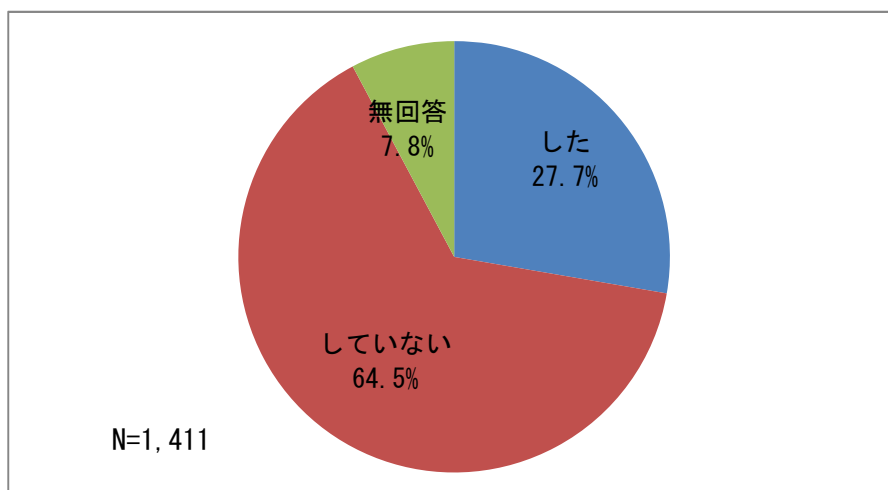
※問 5④で「知っている」を選択した方

問 5⑤ 知っている相談場所をお答えください。(複数回答)



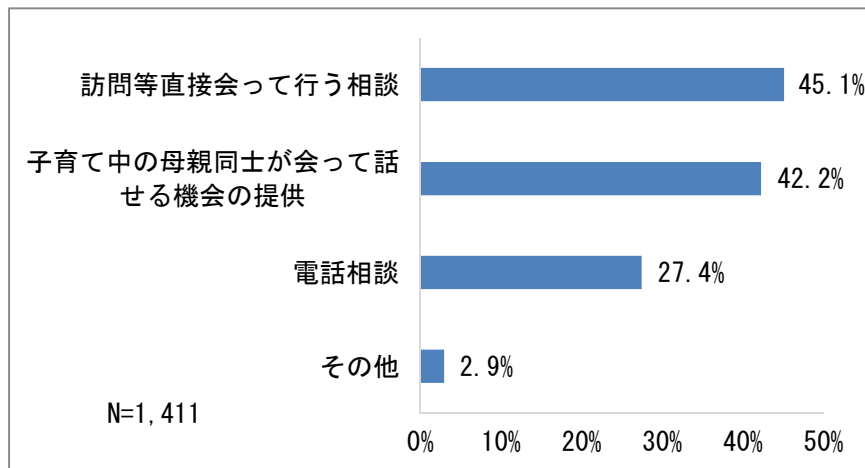
知っている相談場所は、「徳島市保健センター」が 74.3%で最も多く、次いで「出産した病院・産院」が 48.7%、「徳島市子育て支援課」は 33.4%となっています。

問 5⑥ 産後に問 5⑤の機関等に相談しましたか。



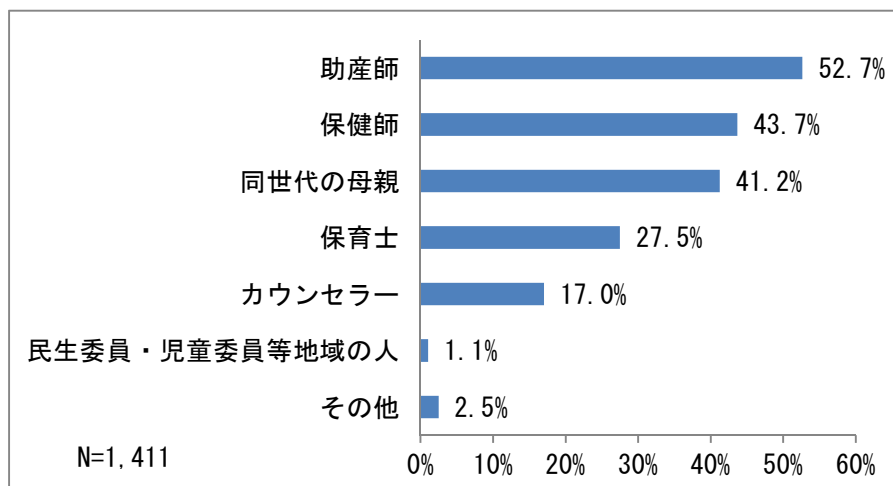
産後に相談機関に「相談した」のは 27.7%、「相談していない」は 64.5%で、大半は相談していませんでした。

問 5⑦ どんな相談先がほしいですか。(複数回答)



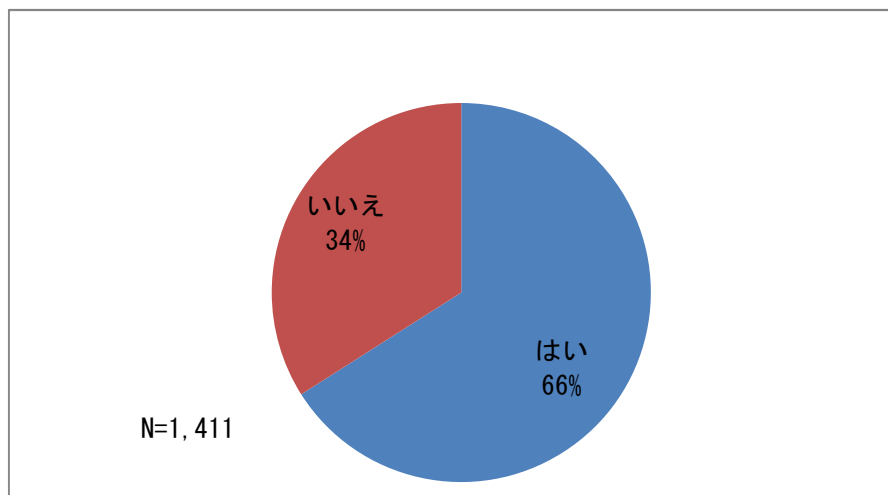
欲しい相談先として、「訪問等直接会って行う相談」が 45.1%、「子育て中の母親同士が会って話せる機会の提供」は 42.2%となっています。

問 5⑧ どのような人に相談したいですか。(複数回答)



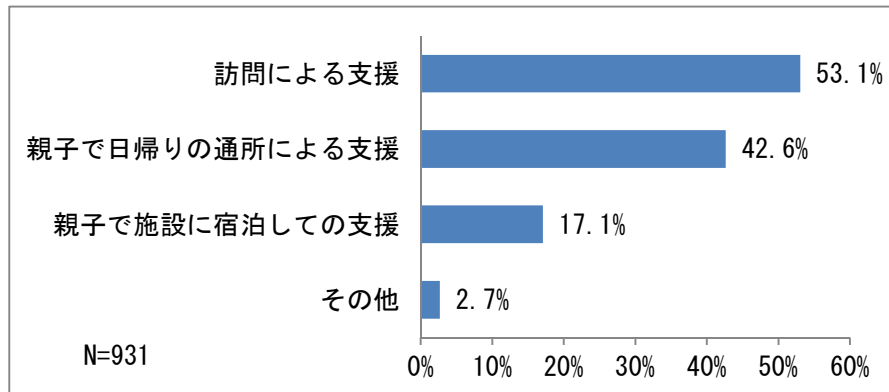
相談したい人として、多い順に「助産師」(52.7%)、「保健師」(43.7%)、「同世代の母親」(41.2%)となっています。

問 6① 産後の自身の心身や育児に関する支援を受けたかった、または受けたいですか。



産後の自身の心身や育児に関する支援について、「受けたかった、または受けたいですか」と尋ねたところ「はい」が 66.0%で、約 7 割が支援を希望しています。

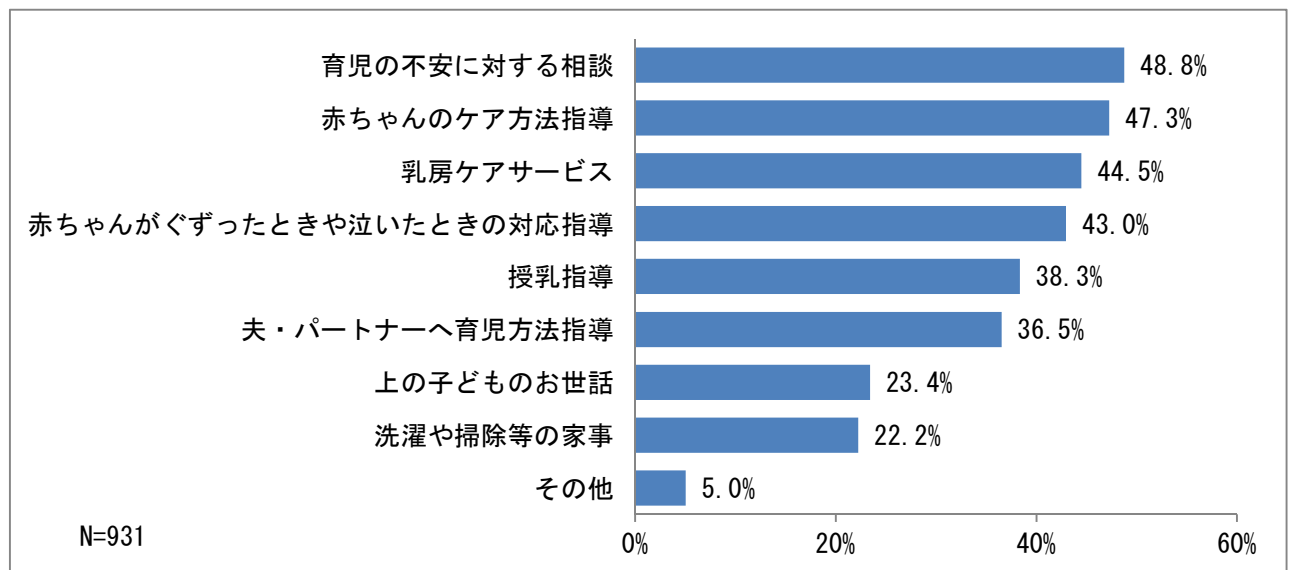
※問 6①「産後の自身の心身や育児に関する支援を受けたかった」で「はい」を選択した方
 問 6② どのような支援を受けたかった、または受けたいですか。(複数回答)



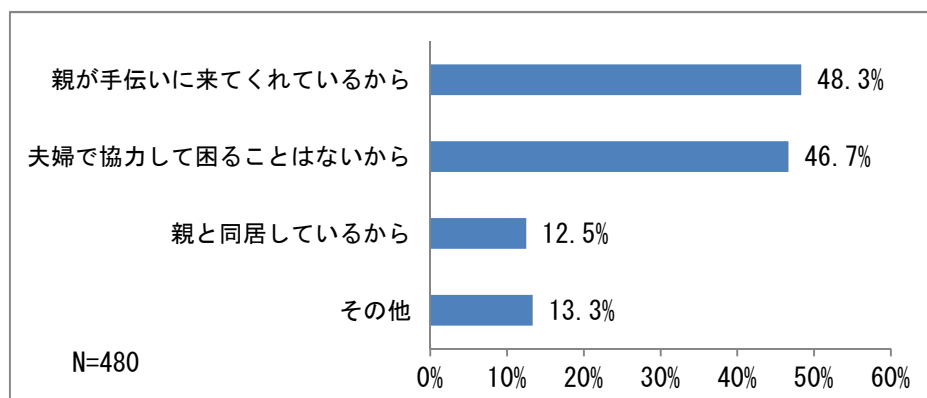
受けたかった支援は、「訪問」が 53.1%で最も多く、次いで「親子で日帰りの通所」が 42.6%、「親子で施設に宿泊」は 17.1%となっています。

※問 6①「産後の自身の心身や育児に関する支援を受けたかった」で「はい」を選択した方
 問 6③ 支援してほしい内容はどのようなものですか。(複数回答)

支援してほしい内容は、多い順に「育児の不安に対する相談」(48.8%)「赤ちゃんのケア方法指導」(47.3%)、「乳房ケアサービス」(44.5%)、「赤ちゃんがぐずったときや泣いたときの対応指導」(43.0%)となっています。



※問 6①「産後の自身の心身や育児に関する支援を受けたかった」で「いいえ」を選択した方
 問 6④ その理由をお答えください。(複数回答)



産後の自身の心身や育児に関する支援を希望しない理由として、「親が手伝いに来てくれているから」が 48.3%、「夫婦で協力して困ることはないから」は 46.7%となっています。

「その他」を選択した方の主な内容

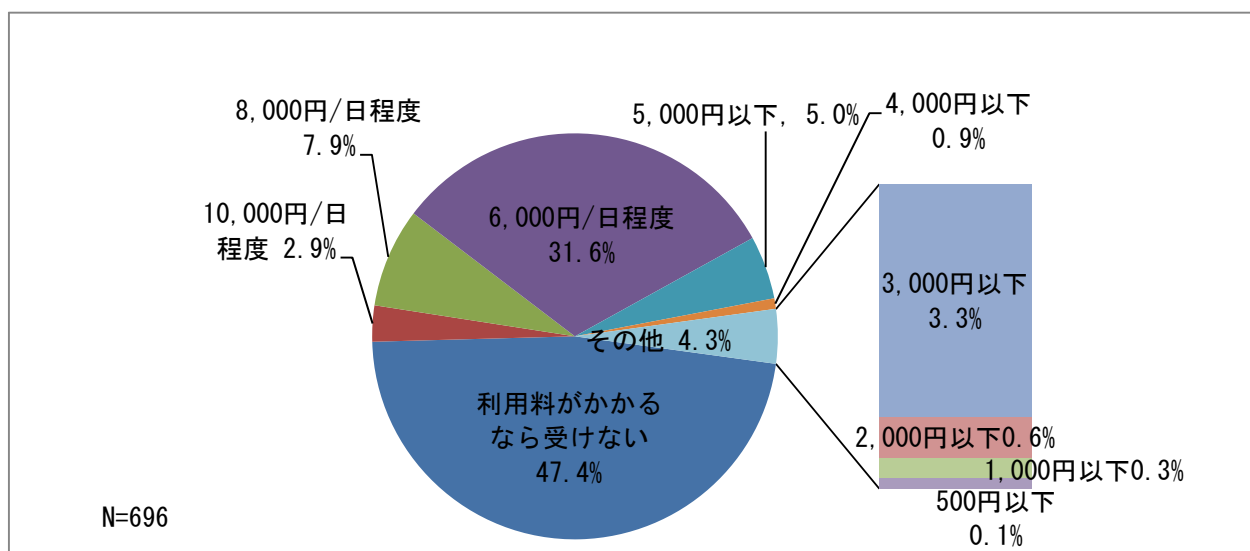
項目	件数
①他人の支援は受けたくない	14
②自分でしたい/自分でどうにかしていく	10
③親以外にも育児の協力者がいるから	8
④支援を受けるほど困っていない	6

※問 6①で「はい」を選択した方

問 6⑤ 利用料がかかっても、支援を受けたいですか。また、どの位の利用料までなら、支援を受けたいと思いますか。

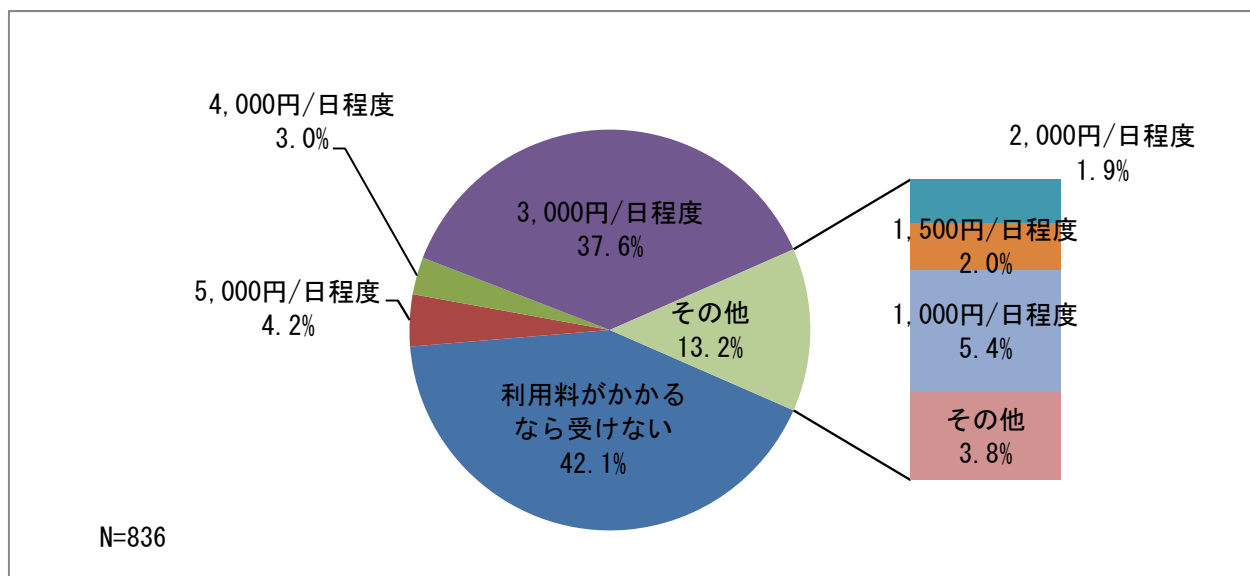
ア 親子で宿泊しての支援の場合

「利用料がかかるなら支援を受けない」が 47.4%で最も多く、次いで「6,000 円/日程度」が 31.6%となっています。

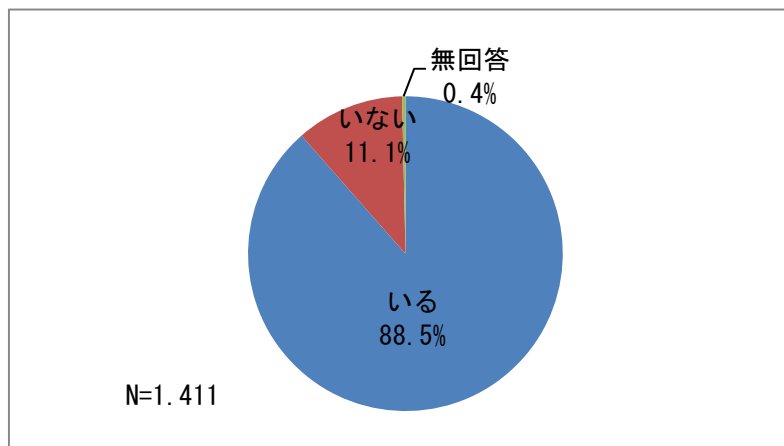


イ 親子で日帰りの通所による支援の場合

「利用料がかかるなら支援を受けない」が 42.1%で最も多く、次いで「3,000 円/日程度」が 37.6%となっています。



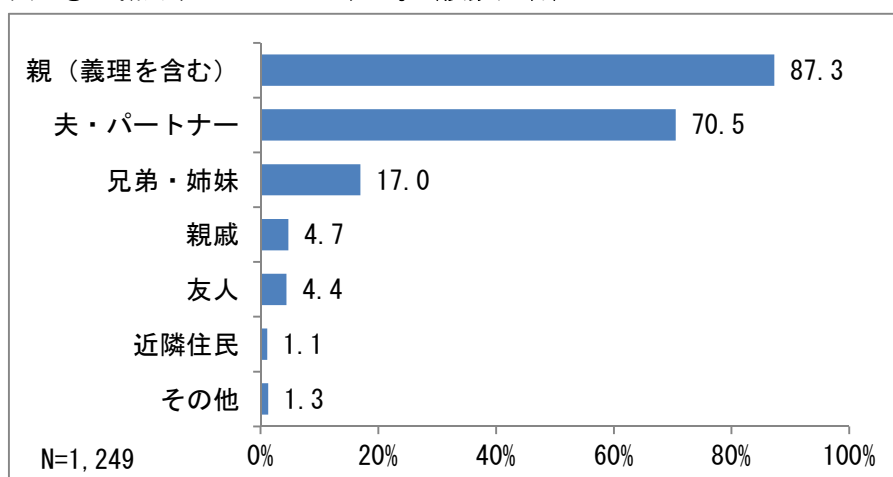
問 7① 自分が大変なときに、気軽にお子さんの面倒をみてもらったり、預けられたりできる育児の協力者はいますか。



育児の協力者が「いる」のは88.5%で、「いない」は11.1%となっています。

※問 7①で育児協力者が「いる」を選択した方

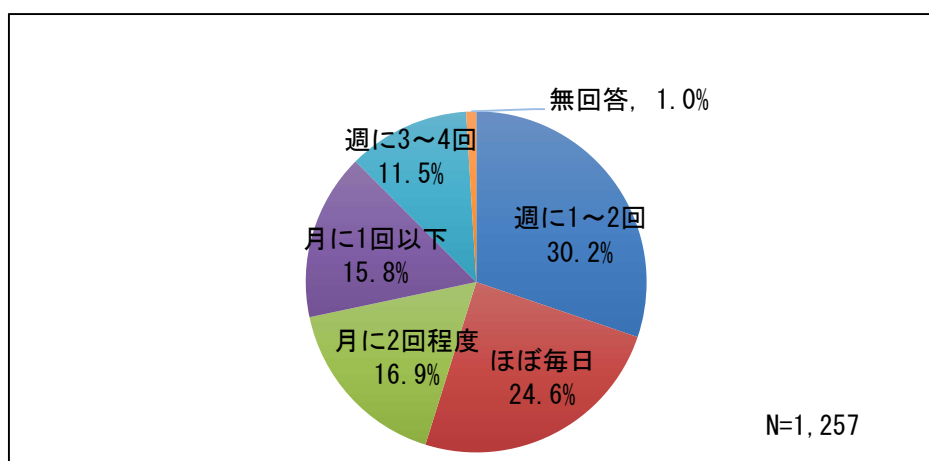
問 7② 協力者はどなたですか。(複数回答)



育児の協力者は、「親(義理を含む)」が87.3%で最も多く、次いで「夫・パートナー」(70.5%)、「兄弟・姉妹」(17.0%)となっています。

※問 7①で育児協力者が「いる」を選択した方

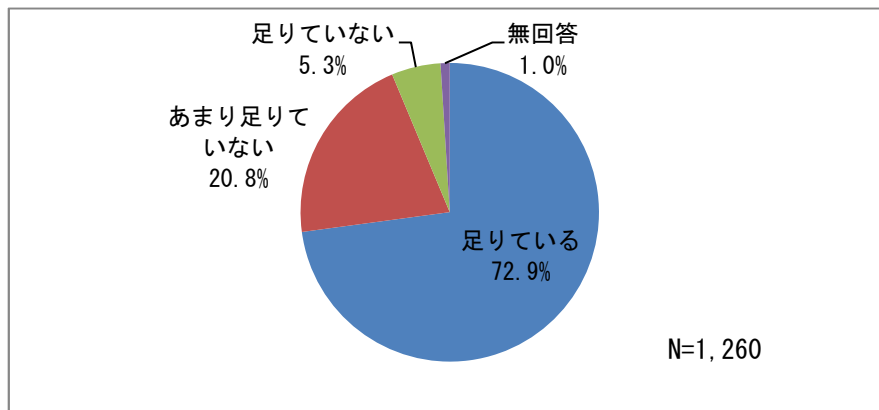
問 7③ 協力者が面倒をみてくれたり、預かってくれる頻度はどれくらいですか。



預かってくれる頻度は、「週に1~2回」が30.2%で最も多く、次いで「ほぼ毎日」(24.6%)、「月に2回程度」(16.9%)となっています。

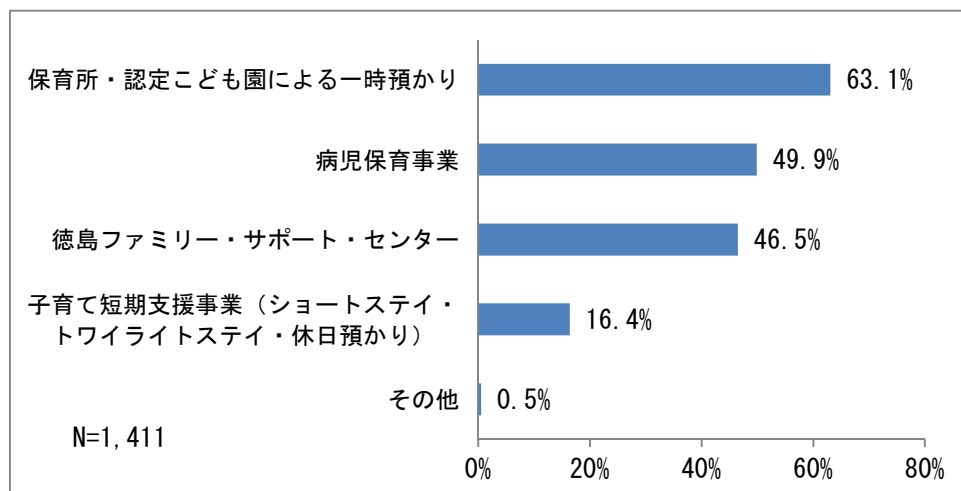
※問 7①で育児協力者が「いる」を選択した方

問 7④ 育児協力者からの支援は十分ですか。



育児協力者の支援について、「足りている」が72.9%で最も多く、「あまり足りていない」が20.8%、「足りていない」は5.3%となっています。

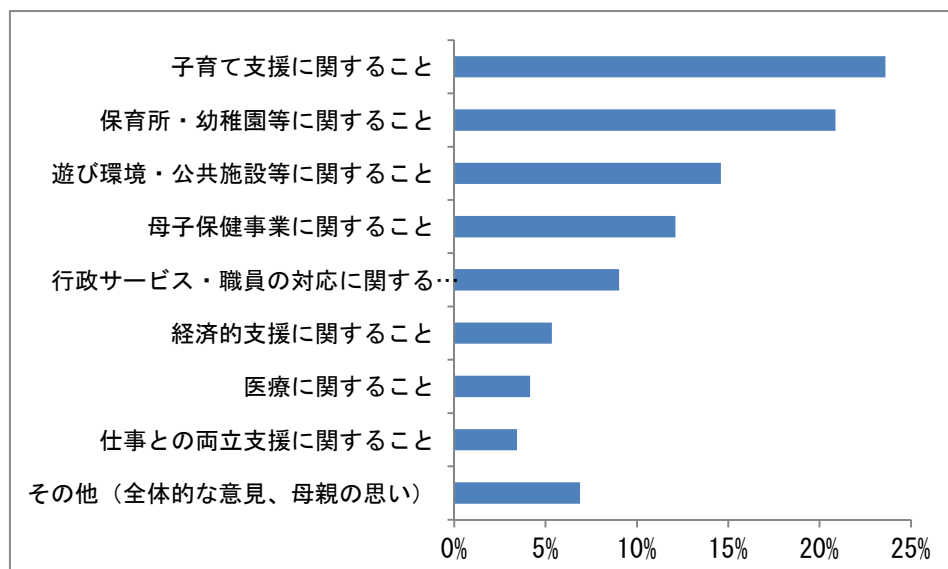
問 7⑤ 育児の協力者が得られない場合の預かりの制度で知っているものをお答えください。(複数回答)



知っている預かり制度では、「保育所・認定こども園による一時預かり」が63.1%で最も多く、次いで「病児保育事業」(49.9%)、「ファミリー・サポート・センター」(46.5%)となっています。

問 8 子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

(自由記述)



自由記述には616人(1411人の43.7%)、述べ843件の記載がありました。最も件数の多かった項目は「子育て支援に関する事」で199件、ついで「保育所・幼稚園等に関する事」が176件、「遊び環境・公共施設等に関する事」が123件、「母子保健事業に関する事」は102件となっています。

結果の要約

〈回答者の属性〉

- ・母親の年齢は、30歳～34歳が4割弱で最も多く、25歳から39歳が9割弱を占めていました。「出産後5～8か月」が最も多く、「出産後9か月～1年未満」「出産後2～4か月」と続いています。子どもの数は「1人」が5割強で最も多く、次いで「2人」となっています。

〈妊娠中に欲しかった情報〉

- ・欲しかった情報として最も多かったのは、「産後に受けられるサービスについて」で「妊娠中に気をつけるべきこと」、「お腹のなかの赤ちゃんのこと」と続いています。

〈妊娠中の不安と相談〉

- ・9割弱が妊娠中に不安なことが「あった」と回答し、不安なことは多い順に「お腹の赤ちゃんのこと」、「お産に対する不安」、「妊娠中に関わる自身の身体のこと」、「産後に対する不安」となっています。
- ・妊娠中の不安なことを「相談した」のは85.6%で、相談先は多い順に「自身の母親や祖母・姉妹」、「かかりつけの病院」、「友人」となっています。「相談しなかった」理由としては「相談しても解決されないから」があげられました。

〈出産後の里帰りについて〉

- ・回答者の過半数が出産後に里帰りをしており、里帰りの期間は「産後2週間以上2か月未満」が6割近くを占めており、次いで「産後2か月以上4か月未満」、「産後2週間未満」となっています。里帰りをしなかった理由は「親が手伝いに来てくれたから」が最も多く、次いで「実家が遠いから」、「親と同居しているから」となっています。

〈産後の不安や負担〉

- ・産後に不安や負担を感じると回答した割合は、「とても感じた」と「ときどき感じた」を合わせると約8割強近くいます。「もっとも不安や負担を感じた時期」については、「出産後1か月以内」が最も多くなっています。
- ・産後の不安や負担を感じた内容は、多い順に「体の疲れ」「睡眠不足」「イライラしたり落ち込んだりする」「授乳をめぐるトラブル」となっています。

〈相談できる場所〉

- ・産後の心身や育児について相談できる場所を「知っている」が74.3%で、知っている相談場所は「徳島市保健センター」が最も多くなっています。
- ・産後に相談機関に「相談した」のは27.7%、「相談していない」が64.5%で、大半は相談していませんでした。欲しい相談先は「訪問等直接会って行う相談」や「子育て中の母親同士が会って話せる機会の提供」となっています。
- ・相談したい人は、多い順に「助産師」、「保健師」、「同世代の母親」となっています。

〈産後の自身の心身や育児に関する支援〉

- ・「産後に自身の心身や育児に関する支援を受けたいか」について、約7割近くが「受けたい」と回答し、受けなかった支援は「訪問」が最も多く、次いで「親子で日帰りの通所」「親子で施設に宿泊」となっています。一方、支援を希望しない理由として、5割弱が「親が手伝いに来てくれているから」「夫婦で協力して困ることはないから」をあげています。
- ・「支援を希望する」を選択した方のうち、「親子で宿泊しての支援」の希望については、「利

用料がかかるなら支援を受けない」が 46.2%で最も多く、次いで「6,000 円/日程度」 30.8% となっています。同様に「親子で日帰りの通所による支援」の希望については、「利用料がかかるなら支援を受けない」が 42.1%で最も多く、次いで「3,000 円/日程度」が 37.6% となっています。

〈育児の協力者〉

- 育児の協力者が「いる」のは 88.5%で、「いない」は 11.1%となっています。
育児の協力者は「親（義理を含む）」（87.3%）が最も多く、次いで「夫・パートナー」「兄弟・姉妹」となっています。預かってくれる頻度は、「週に 1～2 回」（30.2%）が最も多く続いて「ほぼ毎日」、「月に 2 回程度」となっています。
- 育児協力者の支援について、「足りている」が 72.9%で最も多く、「あまり足りていない」が 20.8%、「足りていない」は 5.3%となっています。
- 知っている預かり制度では、「保育所・認定こども園による一時預かり」が 63.1%で最も多く、次いで「病児保育事業」、「ファミリー・サポート・センター」となっています。

アンケートのご協力ありがとうございました。今回の結果をふまえ、今後の母子保健事業に活かしていきたいと思えます。